NATIONAL AINU MUSEUM
vol.001
2020 SEPTEMBER
創刊号

アヌココロ アイヌ イコロマケンル ソンコ 国立アイヌ民族博物館 ニュースレター アヌアヌ

ANUANU

開館記念
特別号



［開館記念特別展］11／8㊐まで好評開催中
サスイシリ 私たちが受け継ぐ文化
～アイヌ文化を未来へつなぐ～

○ウポポイへようこそ！
○基本展示の注目ポイント①「イタク 私たちのことば」
○博物館Pickup！

創刊のことば



国立アイヌ民族博物館
館長　**佐々木 史郎**

『アヌアヌ』セコㇿ アイェ ㇷ゚ アヌココㇿ アイヌ イコロマケンル ソンコ ネ アン ペ エアシリ チカㇻ ナ.（国立アイヌ民族博物館ニュースレター『アヌアヌ』を創刊しました。）

アヌココㇿ アイヌ イコロマケンル（国立アイヌ民族博物館）は、わが国に初めて誕生したアイヌ文化の展示や調査研究などに特化した国立博物館です。

ウポポイが開設された白老町のポロト湖畔には、「アイヌ民族博物館」というアイヌ自らが創立した博物館が30年以上にわたって運営されてきました。この博物館は展示と芸能でアイヌ文化を紹介し、また文化を通じて世界各地の先住民族と交流してきました。つまり、文化復興と民族共生を先取りする形で活動してきたのです。この「アイヌ民族博物館」はウポポイの建設に伴って2018年3月にその歴史を閉じましたが、その精神は、ウポポイとその中核施設である国立アイヌ民族博物館が着実に受け継いでいきます。文化の復興、創造と多様な民族の共生は車の両輪であり、その相乗効果によって社会全体を活性化させます。この新しい国立博物館では、アイヌ民族が主体となってその理念を実現させていきますが、それと同時に世界の多様な民族の出身者がアイヌ文化を接点にして集まり、その復興と創造に参加することで、日本国内のみならず人類社会全体の活性化に貢献することを目指していきたいと考えております。

ニュースレター『アヌアヌ』は年4回（2020年度は3回）刊行していく予定です。博物館の話題性の高い情報を提供するだけでなく、アイヌ文化の優れたデザイン力や精神性、さらにそれを接点に集う世界のさまざまな人々の文化を紹介して、バラエティー豊かな誌面をつくっていければと考えております。読者の皆さまからの応援を心よりお願い申し上げます。

イヤイライケレ！（ありがとうございます！）

2020年9月

アヌアヌとは、アイヌ語で「もしもし」という意味です。
詳しい解説は本誌5ページをご覧ください。

アイヌ文化の復興・発展の拠点

ウポポイへようこそ！

ウポポイ（民族共生象徴空間）は、存立の危機にあるアイヌ文化を復興・発展させるとともに、先住民族の尊厳を尊重し、「差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会」を築いていくという重要な意義を持つナショナルセンターです。

国立アイヌ民族博物館は、そのウポポイの中核施設の一つとして文化庁によって設置されました。博物館設立の理念として「この博物館は、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与する」と述べています。その理念を実現するため、①アイヌの歴史・文化・精神世界等に関する正しい知識を提供し、理解を促進する博物館、②アイヌの歴史・文化に関する十分な知識を持つ次世代の博物館専門家を育成する博物館、③アイヌの歴史・文化に関する調査と研究を行う博物館、④アイヌの歴史・文化等 を展示する博物館等をつなぐ情報ネットワーク拠点となる博物館という4つの設立目的を掲げており、将来にわたって成長・進化していく博物館を目指しています。

※ウポポイは国土交通大臣及び文部科学大臣によって指定を受けた公益財団法人アイヌ民族文化財団により運営されています。



イメージ図

2020年7月12日にオープンしました！



開業記念式典


オープニングセレモニー

ウポポイ開業を記念して、7月11日に記念式典、翌12日にオープニングセレモニーを行いました。オープニングセレモニーのテープカットにはウポポイPRアンバサダーである俳優の宇梶剛士さん、AKB48 Team8の坂口渚沙さん、ウポポイオフィシャルサポーターのTEAM NACS 森崎博之さん、戸次重幸さんも参加され、オープン初日を華やかな雰囲気の中、迎えることができました。

アヌココㇿ アイヌ イコロマケンル
国立アイヌ民族博物館

博物館の1階にはシアター・ライブラリ・ミュージアムショップ、2階には基本展示室・特別展示室があります。基本展示ではアイヌ民族の視点から「私たちのことば」「私たちの世界」「私たちのくらし」「私たちの歴史」「私たちのしごと」「私たちの交流」という6つのテーマと探究展示　テンパテンパ　を基にしています。特別展示室では国内外の博物館などと連携し、アイヌ文化、先住民族文化をはじめ、さまざまなテーマの特別展示やテーマ展示を開催します。



アヌココㇿ ウアイヌココㇿ ミンタㇻ
国立民族共生公園

国立民族共生公園は、自然の中で培われてきた先住民族アイヌの文化を五感で感じることができるフィールドミュージアムです。アイヌ古式舞踊の上演や伝統芸能体験、食文化体験や伝統工芸品の製作体験等を通じてアイヌ文化を体感することができます。豊かな自然に囲まれた、アイヌ文化が息づく憩いの場でもあります。


体験交流ホール

シンヌラッパ ウシ
慰霊施設

アイヌの人々の遺骨等について、関係者の理解及び協力の下で集約しています。アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現及びアイヌの人々による受入体制が整うまでの間の適切な管理を行います。



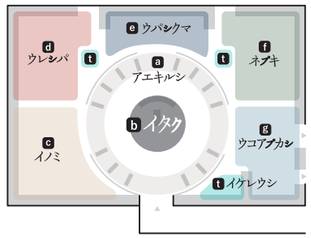




基本展示の注目ポイント①

イタク　私たちのことば

常設の基本展示室は、「私たち」というアイヌ民族の視点で、
ことば、文化、歴史について紹介しています。
数回にわたって、それぞれのテーマの見どころをお届けします。



基本展示における「イタク」の役割

基本展示室の中央に位置する「イタク」では、アイヌ語が書かれた書籍や地図、研究で使われた資料や文学作品などを展示しています。囲炉裏端に座っているような気分でアイヌ語での語りを聞くことができるコーナーや、アイヌ語の仕組みや発音をゲームを通して知ることができるコンテンツ、地名や会話、現在の取り組みについての映像もあります。ウポポイの各所で使われているアイヌ語に興味がわいたら、ぜひ「イタク」をご覧ください。



囲炉裏モニター

囲炉裏端を模した「囲炉裏モニター」。モニター2画面で構成されています。アイヌの口承文芸「神謡」「英雄叙事詩」「散文説話」の3つのジャンルの物語を紹介しています。画面の一つでは現代の語り手がアイヌ語で語り、もう一方のモニターで、その物語のあらすじをイラストとともに表示しています。

研究員のおすすめポイント

囲炉裏モニターには、物語のほかに2種類の待機画面も用意しています。待機画面では、囲炉裏端の生活を表現した映像を関連するアイヌ語とともに紹介しています。待機画面も本編同様に思いを込めて制作したので、ぜひ見ていただきたいです。（研究員 小林美紀）





知里真志保のアイヌ語調査カード

登別市出身の言語学者、知里真志保（1909-1961）がアイヌ語の単語に関する情報を書き込んだカードで、古い木箱の中にぎっしりと納められています。『分類アイヌ語辞典』の編さんに使われたと考えられ、単語の採集地、語構成や語源などが詳細に記録されています。

アイヌ語の地名が書かれた地図

北海道や樺太を計6回調査した松浦武四郎(1818-1888)により作成された地図です。「東西蝦夷山川地理取調図」として1859年に刊行されました。地図には詳細にアイヌ語の地名が記されています。







アイヌ語会話

「こんにちは」「ありがとう」「また会いましょう」など、日常生活で使える会話が学べるショートアニメです。さまざまな方言の言い方を紹介しています。来館者に館内での会話や帰宅後の日常生活でもアイヌ語を使ってもらいたいという目的で制作した映像コンテンツです。



アイヌ語かるた

アイヌの物語や言い伝えに登場する5人(?)のおばけたちと対戦するアイヌ語かるたは、楽しみながらアイヌ語の発音を聞いてもらいたいという目的で制作しました。かるたの途中で、おばけがそれぞれの方法で邪魔をしてきます。



アヌアヌとは

ニュースレターのタイトル『アヌアヌ』はアイヌ語です。創刊準備号では「聞いて聞いて」の意味と紹介しましたが、今回はより詳しく取り上げます。

萱野（1996）には、アヌアヌの意味は「もしもし：アオカ（あなた）に対して」と記載されています。また、田村（1977）には「相手の注意を引くために呼びかける《ねえ》とか《もし》に相当する言い方の一つに、e-nu《お前が・聞く》、a-nu《あなたが・聞く》がある」とあります。

アイヌ語の二人称には、エ「お前が」を使う言い方と、より丁寧なア「あなたが」を使う言い方があり、アを使ったアヌアヌは聞いてほしいときに「もしもし」と丁寧に相手に呼びかけるときに使う言い方と説明できそうです。

萱野茂（1996）『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂
田村すゞ子（1977）「アイヌ語沙流方言の命令表現」『アジア・アフリカ文法研究5』

アイヌ語解説文とアイヌ語音声ガイド

当館の展示解説の大きな特色は、解説文のうち主要な解説について、外部の方々の執筆協力を得て作成したことです。

当館を含むウポポイでは、アイヌ語を第一言語としています。アイヌ語は2009(平成21)年にユネスコにより「消滅の危機にある言語」と位置付けられましたが、一方でこれまでさまざまな方言で記録が残され、表記の方法も模索されてきました。

第一言語のアイヌ語で解説を作成するにあたり、有識者で構成される委員会を立ち上げ、進め方について検討しました。そして、各地でアイヌ語を勉強している方や継承活動をしている方に執筆をお願いし、各方言のアイヌ語研究者や講師のサポートを受けながら作業を進めていただきました。解説文の内容については、テーマを博物館側が提示し、執筆を進める中で必要に応じて展示担当の職員と意見交換を行うこともありました。こうして出来上がった解説文をアイヌ語から日本語へ、そしてさらにそこから英語、中国語、韓国語へと翻訳しました。

執筆者の皆さんには希望する方言やそれぞれのカナ表記での執筆をお願いしたため、展示室のアイヌ語解説文は多様な方言や表記で書かれています。また、音声ガイド機やアプリを通して、アイヌ語の解説を音声でも聞くことができます。この音声は、執筆者の皆さんを中心にアイヌ語のナレーターを務めていただいたものです。

「イタク」では、各テーマの解説文の方言を地図で表示しています。ご来館の際には、文字でも音声でも、ぜひアイヌ語での解説をお楽しみください。

見て見て！館内サイン ①

ウポポイのアイヌ語表示について紹介します。

アペウシカワッカ チヤイ
消火栓

今回はアペウシカワッカ チヤイ「消火栓」です。これを分解すると、アペ「火」・ウシカ「～を消す」・ワッカ「水」、チヤイは「栓」です。

既存のアイヌ語には確認できない語でしたが、こうした語についても今回表示を作成するにあたってアイヌ語で表現することに取り組みました。

アイヌ語でどのように表現するかを検討する組織を立ち上げ、さまざまな案を出し合い、議論を重ねました。もしかしたら、今後ウポポイの外でさらに新しい表現が生まれ、固定されることもあるかもしれません。



サスイシリ

※サスイシリはアイヌ語で「永遠」という意味です。

開館記念特別展　11月8日㊐まで好評開催中

私たちが受け継ぐ文化
～アイヌ文化を未来へつなぐ～



アイヌ民族を取り巻く社会環境は、近代以降大きく変化し、文化継承の形は多様化しました。今回の特別展示では、民具・アイヌ語・芸能など5つのテーマに分け、継承されてきた技術や感性を現在活躍中の作家や担い手を中心に、個人や団体に焦点をあて紹介します。伝統的な作品ばかりではなく、伝統を踏まえた新しい作品や活動も展示します。新たなアイヌ文化の創造および発展に寄与するとともに、アイヌ文化に関する正しい認識と理解を促進することを目指します。

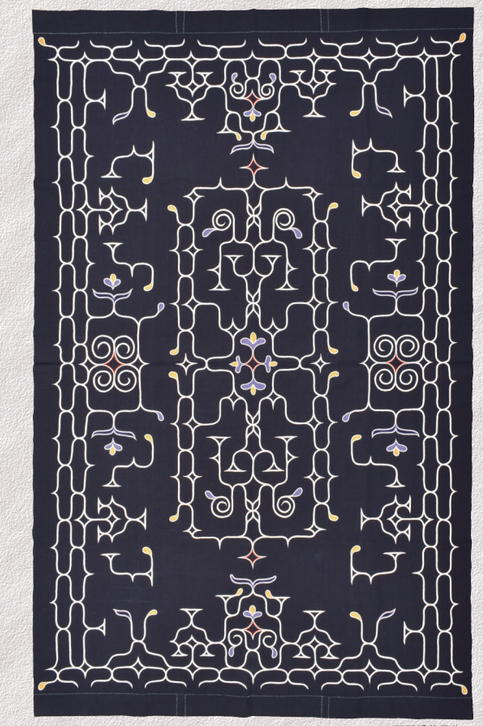
（学芸員 北嶋由紀）



萱野茂『萱野茂のアイヌ神話集成』

「アイヌ語の継承」より

アイヌ語は明治以降、国の同化政策によって生活の中から失われてきました。しかし、世界的な少数民族の言語復興活動とともにアイヌ自らがアイヌ語を学ぶための運動が活発になり、アイヌ語に関する図書も多く出版されています。



西田香代子作のタペストリー

「現代の匠－優秀工芸師」より

優秀工芸師が制作した伝統的あるいは伝統を継承した新しい作品です。伝統を追求したものや、現代の生活に寄りそうものなどがあり、それぞれ工芸師の感性と技術が注ぎ込まれています。新しいアイヌ文化創造の礎ともなります。



貝澤幸司《幻想》

「民具の継承」より

私たちは差別などのさまざまな理由により、文化や技術を親が子に伝えない、あるいは生活に余裕がないためなどで継承することが困難でした。現在は、資料からの学びや講習会など多様化された継承が行われています。



ポロト湖畔での舞踊

「芸能の継承」より

舞踊の伝承は各地で設立された保存会を中心に行われています。「アイヌ古式舞踊」が国の重要無形民俗文化財の指定を受け、古い記録から復元する活動や、新しいスタイルの創作活動も行われています。



マレウレウ／池田宏撮影

「現在の継承者」より

アイヌ文化の継承は、個人や地域によりさまざまな形があります。仕事として行う人もいれば、そうでなく行う人もいます。文化継承のほかにも社会情勢に対応した活動などを行う人もいます。多様な活動を紹介します。

博物館 pickup!

国立アイヌ民族博物館の収蔵資料をピックアップして紹介します。

［イタ（盆）］

科学分析装置で見てみよう！

2018年に文化庁買取資料として収蔵されたイタ。板目材を用いてつくられ、寸法は長さ297mm、幅302mm、厚さ26mmを測ります。状態は極めて良く、製作者は優秀工芸師の浦川太八氏（1941～）です。



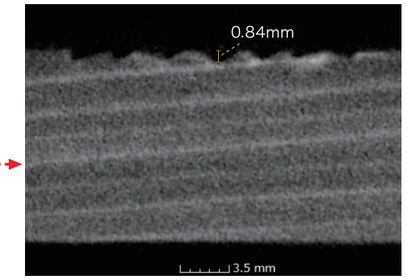
表面には、波線や渦状などの繊細な模様が彫られており、彫り方の均一さや曲線の仕上がりなどから、精巧につくられています。特に目を引くのは、中央や周囲を飾るうろこ模様です。デジタルマイクロスコープで表面を拡大すると、斜めに交差する線彫りで長さ3mm、幅2mmほどの菱形の空間をけがき、その空間の半分を深く彫り下げることで、うろこ状にする様子がわかります。また、X線CT装置で断面を観察すると、1mm以下の深さで彫られており、高度な薄い切削の一端を見ることができます。

木彫りは、一度失敗するとその後の修正が難しい精密な技術です。美しく彫られた模様から繊細なつくりを見ることができ、作品に込められた製作者の確かな技が伝わってきます。

（学芸員 竹内隼人、研究員 大江克己）



デジタルマイクロスコープによる表面拡大画像（30倍）



X線CT装置による断層画像

次回テーマ展示紹介

収蔵資料展 イコロ
～資料にみる素材と技～

1期：2020年12月1日㊋～2021年1月24日㊐
2期：2021年2月2日㊋～2021年3月21日㊐
3期：2021年3月30日㊋～2021年5月23日㊐

当館はアイヌ文化の復興と新たな創造のための拠点として、展示、教育普及、調査研究、博物館情報ネットワークの構築とともに、アイヌ文化関連資料の収集を行っています。購入や寄託・寄贈によりさまざまな資料を収集し、旧一般財団法人アイヌ民族博物館から受け継いだものと合わせると、1万点を超える資料を収蔵しています。

本展では、開館に向けて収集した新着資料を中心に紹介します。資料に用いられた素材と技に注目し、新たに導入した科学分析装置の調査成果と併せて、アイヌ民族の技の一端に触れていただけると幸いです。

表紙の作品　貝澤 徹《アペフチカムイ ～火の神様》2020年

ウポポイへの入場は事前予約制です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みについて、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

STEP 1
博物館への事前予約

博物館に入館する場合は、必ず事前予約をお願いいたします。
当日、予約なしで博物館への入館はできませんのでご注意ください。

国立アイヌ民族博物館では、館内にいる人数を常時200人程度に保つため、1時間刻みの予約制としています。オンライン予約で「博物館　入館整理券」を発行してください。

オンライン予約の状況をご確認後に、ウポポイ入場券の購入をお勧めしています。

博物館への予約はこちら

https://www.e-tix.jp/nam/

STEP 2
入場券の事前購入

入場券	料　金（税込）	入場日の予約
1日券	大人 1,200円 高校生 600円	オンライン購入時に日付を指定
年間パスポート	大人 2,000円 高校生 1,000円	入場日予約券（無料）を発行。オンライン予約で日付を指定
入場無料	中学生以下 障がいのある方、その介助者（1名）	

1日券購入はこちら

年間パスポート購入はこちら

ウポポイから入場に関するお知らせ

ご来場の際には、新型コロナウイルス感染拡大防止のための以下の取り組みについて、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

- ウポポイでは、入場日の予約制（日付指定）を導入しております。ホームページの「入場券等のお求めと来場日の予約について」により、必要な入場券等を入手の上、ご来場ください。
- 国立アイヌ民族博物館の展示室の観覧を希望する方は、別途、オンラインによる入館日時の予約が必要です。
- 博物館以外の施設では、当日、整理券を配布するものがあります。
- ご入場の際には、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保及び連絡先記入票のご提供（博物館入館日時の予約された方を除く）等についてご協力をお願いします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、プログラム内容等の一部変更、中止している場合があります。ホームページ等で事前にご確認ください。

日本最北の国立博物館
国立アイヌ民族博物館へのアクセス





札幌
【札樽道札幌北IC】高速道路利用で約65分
【ＪＲ札幌駅】特急列車利用で約65分

新千歳空港
【道央道新千歳空港IC】高速道路利用で約40分
【JR新千歳空港駅】特急列車利用で約40分

※上記時間は目安です。乗換え時間は含みません。

白老駅から徒歩約10分
【一般駐車場】第1駐車場 246台
第2駐車場 311台
白老駅に特急列車（北斗、すずらん）1日31本停車（予定）

■開園時間（令和2年度）

期　間	営業時間
通　常	平　日 9:00～18:00 土日祝日 9:00～20:00
11月1日～3月31日	9:00～17:00

※休館日／月曜日（祝休日の場合はその翌日以降の平日）および年末年始（12月29日～1月3日）

■入場料（税込）

	一　般	団体（20名以上）
大　人	1,200円	960円
高　校　生	600円	480円
中学生以下	無　料	無　料

博物館の入館料は、ウポポイ入場料に含まれます。
※博物館の特別展示や一部の体験メニューを除く。

■駐車・駐輪料金（第1駐車場246台・第2駐車場311台 駐車可能）

	乗用車	二輪車・自転車
一般駐車場	1回 500円（税込）	無　料

※当日限り
※二輪車の幅が90cmを超える大型二輪車等は乗用車扱いとなります。

■各種設備

- 多言語対応（最大8言語：アイヌ語、日本語、英語、中国語［簡体字・繁体字］、韓国語、ロシア語、タイ語）
- バリアフリー　●無料Wi-Fi　●キャッシュレス

NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館

ウェブサイト https://nam.go.jp/

■お問い合わせ
公益財団法人 アイヌ民族文化財団（ウポポイ内）
住所：〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号
電話：0144-82-3914　FAX：0144-82-3685
メール：info@ainu-upopoy.jp

ウポポイに関する詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ　検索

https://ainu-upopoy.jp/

国立アイヌ民族博物館ニュースレターアヌアヌ創刊号　編集・発行：国立アイヌ民族博物館　2020年9月発行　印刷：凸版印刷株式会社